



▲ 年間で一番忙しい時期
味の館の皆さんも気合いが入ります

トマト真っ盛り！

お茶に続く村の基幹作物といえば、やはり夏秋トマト。この時期になるとトマト農家、選果場、味の館は大忙し。

今のところ好天が続いているお陰で収量も良好とのこと。

今年は、従来の「桃太郎」を品種改良した「桃太郎^{エイト}8」に変わり6月28日から出荷が始まっています。

この「桃太郎^{エイト}8」は味も良く、農家にとって作りやすく、また収量も多く取れるという、まさに三拍子揃ったトマトです。

味の館は、7月22日からトマトジュースの加工が始まり、今年の目標は30,000本。味も良好というこのトマト、ジュースの売上も期待できそうです。



品質も良く A 級品が多いとか



トマトの出来はまずまず、農家の皆さんも一安心

広報

1996
平成 8 年

8

No.422

ひがししらかわ

人口の動き

世帯数	896	世帯
人口	3,320	人
転入	4	人
転出	6	人
出生	2	人
死亡	3	人

先月と比較して3人減
昨年の同月と比較して
54人減

夏休み

子どもたちはみんな
真っ黒に日焼けして、
羽が生えたように飛び回る。

平成八年の夏、雨量も少なく、とっても暑い夏であります。小、中学校の夏休みは七月二十日から四十日間。子どもたちにとっては楽しみであり、また、色々な思い出を作るときでもあります。それは今も昔も変わらないようですが、今回は、現在の中学生の夏休みの過ごし方を知るため、アンケートや取材をしました。また、村での楽しみ方を少し紹介します。

山下洋平さん

の夏休み

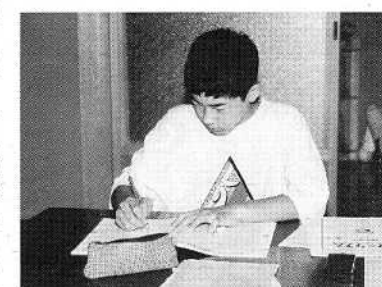
山下洋平さん（神付）は現在中学三年生。共働きのお父さん、お母さん、そして高校生のお姉さんとの四大家族。剣道部に所属する洋平さんは、夏休みに入っても、郡大会や地区大会があり、なかなかゆっくり休んではいられなかったようです。

洋平さんは、毎朝六時に起床。六時半からのラジオ体操には欠かさず参加しています。体操から帰ると家族みんなで朝食時間。お父さんから夏休みの仕事を早く作るようにと言われたようですが、まだまだ気乗りがしないようです。

七時四十分にはお母さんが出勤。八時にはお父さんも仕事に行きます。お姉さんは朝の部活動のため朝早くから家を出ていました。

お父さんが出ていくと、それから洋平さん一人の時間。高校進学を決め

ている洋平さんは、一人だからといって羽を伸ばすわけにはいきません。



夏休みの宿題、がんばるぞ！

夏休みの後半には進路を左右するテストが控えています。八時からは、勉強の時間。学校から与えられたサマークラス（夏休みの宿題）を開き、今日やっていたのは一年生のときの復習で、電気回路や水中の微生物といった内容でした。生物は大学の得意とあって、エンピツがスラスラと動いていました。

勉強を始めてから一時間半ほどたったところでちょっと一休み、外へ出て大好きな虫探し。「虫は色々な動きをするからおもしろい」と物心ついたときから虫が好きだったという洋平さん

はきつと心のやさしい少年なのでしょ。

家族の一員である三毛猫の「ミミちゃん」もいつも遊んでくれる洋平さんの側を離れようとしません。

しばらく外を散歩したあとは、また勉強の続き。次は英語のページを開き参考書も用いず、エンピツが走っていました。

都会では、ほとんどの子が塾通いをしている中、村の子たちは学校だけが頼りで、進学を希望している子たちには大きなハンデを抱えているようでもあります。そんなことを洋平さんに尋ねてみると、「ぼくにガンバル」と力強い応えが返ってきました。

太陽も高く上り、部屋の中もしだいに暑くなってきました。勉強時間の終了と決めていた十一時になり、普段はまた外へ行き、虫探しをするのですが、今日は色々話を聞かせていただきました。

ファミコンはしないの？
火、木、土、日だけです。家族で決めました。

夏休みにどこかへ行く予定は？
関市の岐阜県博物館へ行きます。休日にお父さんと遊びますか？

猫の「ミミ」家族の一員です



虫はいろんな動きをします

あまり遊びません。でも、たまに阿木川ダムなどに釣りに連れて行ってくれます。

将来、どんな仕事に就きたい？

お父さんのような測量などの仕事がいいです。

この村は好き？

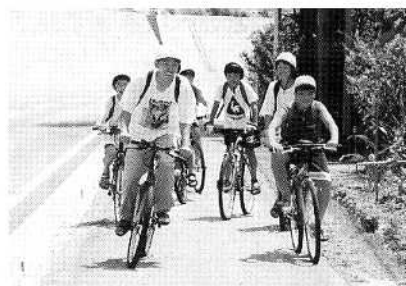
自然があって、大好きな虫もいますから村を離れたくない。

こう尋ねているとお母さんが、仕事場から昼食を作りに戻ってきました。

お母さんの作ってくれた、ひやむぎをおいしくいただき、昼からは友だちと川へ行く約束をしていました。待ち合わせ時間は四十分。急いでリュックの中に入れた、魚も好きという洋平さんは、魚取りのタモも決して忘れず、自転車に飛び乗って出かけました。

待ち合わせ場所は家のすぐ横。五分ほど待っていると村雲良光さん（神付）が「洋平君」と言いながらやってきました。

待ち合わせに少し遅れた良光さんの姿を見るとほっとしたのか笑顔を見せ二人は川へ向かいました。途中から他の友だちとも合流。ヘルメットをかぶ



友だちと遊ぶのが一番！

り友だちと楽しそうに自転車をこいでいく姿に、あどけなさを感ぜさせました。

着いた所は杉田

屋。すでに越原の友だちは先に来て泳いでいました。

総勢十六名。チューブで瀬を下ったり、水中メガネで覗き込んだりしながら遊んでいました。

川遊びで楽しむのは、今も昔も変わらないようです。また、子どもたちを見てみると、都会の子たちには、なかなか味わえない田舎の子の特権のようなものを感じられます。

川遊びを始めて一時間半。時計は二時半を指していました。子どもたちは川から上がり、近所の店で食糧の調達もう帰るのかと尋ねると、「野々尻淵へ行く」と「川をはしごする」とは元気なものです。

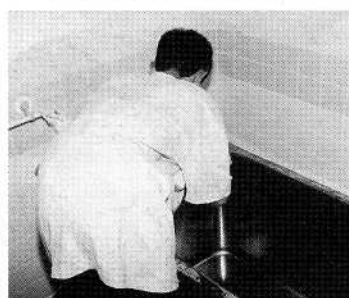
野々尻淵へ来ても洋平



小さな魚がいっぱいいます

さんは、泳ぐというより、持ってきたタモで魚取りばかりしていました。よほど生き物が好きなようです。途中、岸に上がり、先程買った菓子を「ぼり」と一袋たいらげ、食べ終わるとまた魚取り。川を上がったのは四時半みんな揃って家路につきました。

計算したように五時には家に着き、ちよっと一休みしてから、夏休みのお手伝いとして決めていた、風呂洗いを始めました。



風呂洗いは夏休みの日課です

帰宅が一番遅いのは、お父さんですが、六時すぎには家族みんな揃って、夕食の時間。家族だんらんのひとつです。午前中に勉強を済ましている洋平さんは、食事が終わると、テレビを見ながらゆっくりくつろぎ、十時すぎには床に入りました。洋平さんはこうした夏休みの過ごし方をしていましたが、過ごし方は人それぞれ。部活動の大会や受験を控えている皆さんにとって、決して楽しい夏休みでは無いようです。

しかし、夏休みの思い出は、年をとっても覚えています。中学生最後の夏休み、生涯に残る思い出づくりをしてみては。

私たちの時代の夏休み

大明神 桂川耕作さん

昭和八年生まれ

夏休みは七月の二十五日ごろから八月の二十五日まで約一ヶ月ぐらいやったな。暑いもんで、ここを上っていくと淵がある。そこで泳いだ。淵は今でも変わってらん。川から戻ってくると寝たいけど手伝わなあかんかった。夏は百姓は無かったもんで畔草むしりをしよった。そやし、お蚕を飼ったもんで、よお手伝わなあかんかった。水泳は行かしてもらってたけど、せいぜい三十分か一時間。川にやっとおったなんていやあ大叱られやわ。

ほかの遊びなんて、ボールがあるわけでもなし、グローブなんて越原には無かった。神土では見たことがある。旅行なんて、天にも地にも修学旅行しか行ったこと無かった。

はいやでよお忘れんのお。



桂川耕作さん

曲坂 今井 章さん

昭和二十六年生まれ

夏休みは、七月の二十五日から一ヶ月間やったと思うね。

小学校のころは、宿題に「夏の友」と作品づくりがあった。それに、五年生とか六年生のころ、白川町との陸上大会があったもんで、その練習が夏にあった。川は、午前中に勉強しといて、昼一時から行きよった。家の手伝いは、蚕を飼っていたのでそれを少し手伝っていた。それと風呂が昔は炊きもんやったもんで、割ったり、切ったりするのを兄弟で割り当ててやっとな。

低学年のころは「あじめ」なんかの小魚を取って、アイスキャンデーを売りに来よったもんで、それと物々交換をしよった。

テレビが普及したころやったが、家はNHKしかはいらんなんでも近所へ見に行きよった。



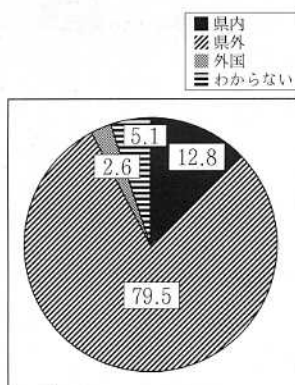
今井 章さん

夏休みの生活

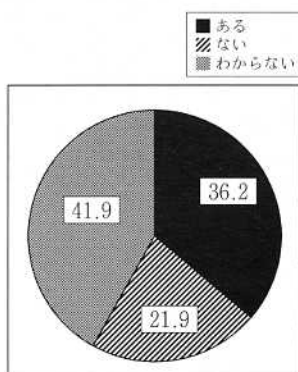
アンケート調査結果

夏休みに入る前、中学生を対象に夏休み生活アンケート調査を実施しました。

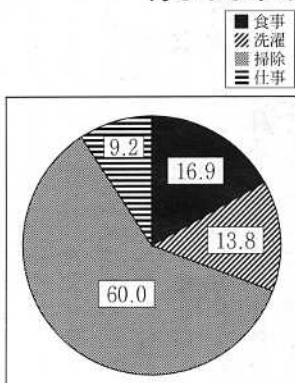
「ある」と答えた人はどこへ行きますか？



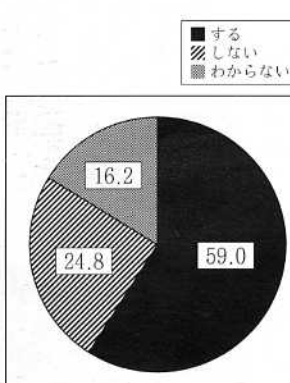
旅行の計画はありますか？



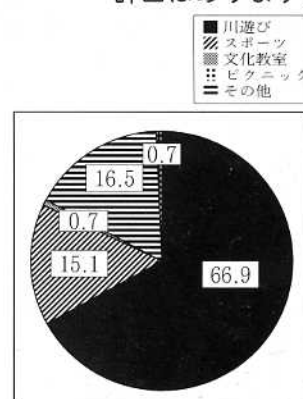
「する」と答えた人は何をしますか？



家の手伝いはしますか？



村内で楽しむ計画はありますか？



家族みんなで

さわやかな汗を

テレビを見ていると、夏休みを利用して家族で海外に出掛ける人たちの空港ラッシュや涼を求め、アウトドアを楽しむ人たちの場面が映し出されます。

ある近所の旅行会社に尋ねたところ、七月中旬の予約で、海外では香港、グアム島、国内では、北海道沖縄の予約が入っていました。

また、東京ディズニーランド、スパイン村といった遊園地やテーマパークに人が集中しているようです。東白川中学校の生徒たちのアンケート調査でも、全校生徒の四割近くがすでに旅行の計画が立っており、そのうち八割が県外、中には外国へ行く人も見られました。

毎日、忙しく働くお父さんたちもこのときばかりは、家庭サービスをしなければならぬ時代なのではないでしょうか。

普段、行けないところへこの夏休みを利用して、見たり、聞いたりすることは、子どもたちの感性を養うためには大変良いことだと思います。

しかし、村の中でも行ったことが無い、見たことが無いという所が、たくさんあるのではないのでしょうか。ぜひ、そういった所を夏休みに探索してみてもいい。



曲坂から入った中出林道。大明神まで見えます

村には、寒陽気山や尾城山といった千層級の山が六つあります。小学校では、六年間に全部の山を征服するといった行事が毎年五月に行われ、ほとんどの子どもたちは、どの山も登山の経験があることでしょう。しかし、お父さんやお母さんの中には、「まだ登ったことがない」という方がいるのでは。子どもたちは友だちと行くのと、また違った楽しみ方があるのでは。

こうした家族のふれあいの中で、たくさん汗をかいてみてはいかがでしょう。

また、村の中には、たくさん林道や作業道ができています。林道から見る景色もまた格別なものがあります。「登山やハイキングは疲れるから」という方は、こういう林道を車で上がるのも爽快なものです。

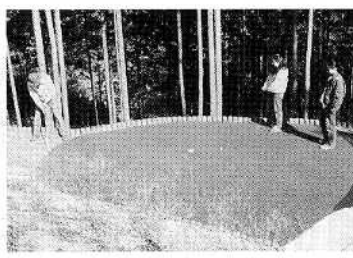
ただし、私有林が多く、山主の許可や作業の人たちの邪魔にならないよう心掛けてください。弁当などのゴミも持ち帰るように。

楽しいいっぱい

こもれびの里

村のプレイゾーンといえばこもれびの里。お年寄りたちの生きがい事業や名古屋の婦人会の皆さんに多く活用されています。また、五月に行われたこもれびの里まつりにもたくさんの人たちでにぎわいをみせました。

こもれびの里は、普段そういった利用のされかたがなされていますが、一般の方も希望があれば利用することができます。



バターゴルフ 誰でも気軽にチャレンジ!!

やはり人気は、陶芸の体験。自分の好みの形や、柄でオリジナルの作品を作ります。こもれびのスタッフが丁寧に指導をしてくれます。あなたも思わぬ才能が発揮できるかも。

みんなでやると楽しいのは、芋掘り体験。村に住んでいても、農業はしたことが無いという方、都会の子どもや主婦のなかには、スーパードレスしか見た

ことがないという野菜たち。採れたてのじゃがいもを蒸して、「ふーふー」いいながら食べるのも最高では。



生きがい事業でも陶芸が行われます

また、五平もちも自分で作って食べることが出来ます。

今年四月にオープンしたバターゴルフも人気があります。「ゴルフなんてやったことが無い」といわれる方でも気軽にできます。ゴルフのバター一本で、ボールを打って九の穴に入れるだけ。夜間の照明も完備されていますので、夕方からでもできます。

楽しい体験がたくさんできるこもれびの里。そのほか、季節ごとにいろいろなイベントを用意していますので、一度あなたも体験してみたいかがでしょうか。

夏休みもあと半月ほど。遊びすぎて宿題も手付かずあせっている子もいるのでは。将来それも一つの思い出になることでしょう。しかし、時の流れは速く、自分たちが大人になる日も遠くはありません。「夏休みにあんなことやった楽しかった」と思える夏休みを過ごしていただきたいものです。

村の応援団

『東白川花の木会』設立

東白川の応援団として岐阜市近郊を中心とした村出身者の組織「東白川花の木会」が産声をあげました。

八月四日、岐阜せいらん会館において、設立総会が盛大に行われ、入会者百四十二名の内、七十八名が出席、また村や東京東白川クラブ、中京村人会の関係者が多数出席し設立を祝いました。

総会では、この組織の発足までの経過報告や規約、役員の承認といったことが行われ、会長には、発起人会の代表を務めた、飯田正樹氏（栃山出身・旧姓桂川）が就任しました。

総会のあとに行われた、懇親会では、同級生や近所の幼なじみとあって、懐かしさや再会の喜びを囁み締める方がほとんど。「同窓会をやら



東白川花の木会設立総会

ないから、こういう会ができてとっても嬉しい」と喜びの声を聞かせてくれたのは、村を離れて三十二年の岩田美智子さん（宮代出身・旧姓安江）この日、美智子さんの同級生は七人の方が出席していました。また、会長に就任した飯田会長は「心の故郷、東白川の活性化のお役に立てたら」とこれからの意気込みを話してくれました。和やかな雰囲気で行われた懇親会、松茶太鼓の皆さんも設立に祝い

太鼓を披露してくれました。最後は、全員で「故郷」を合唱。年に一度開催される総会で、皆さんまた逢える日が楽しみです。村にとって、たのしい応援団の誕生です。



新役員の紹介（敬称略）

- | | |
|-----|--------------|
| 会長 | 飯田正樹（栃山出身） |
| 副会長 | 鈴木 貞（平出身） |
| 会計 | 桂川貞昭（日向出身） |
| 監事 | 安江多枝子（平出身） |
| 幹事 | 小池英雄（中谷出身） |
| | 安江保久（日向出身） |
| | 安江敏彦（上親田出身） |
| | 田口愛子（平出身） |
| | 安江好文（中通出身） |
| | 杉山はる（平出身） |
| | 中島紀代子（上親田出身） |
| | 平光 久（陰地出身） |

飛騨と美濃 ともに歩んだ岐阜県120年 飛騨美濃合併120周年

復活二十周年記念東白川村郷土歌舞伎公演



飛騨美濃合併百二十周年事業、郷土歌舞伎復活二十周年を記念して、歌舞伎公演をはなのき会館で開催。江戸時代から娯楽に乏しい農村では、各地で農村歌舞伎が行われていました。本村でも村民が競って歌舞伎に熱中した時代もありましたが、活動写真の進出や戦争により下火となり戦後は二、三回上演されただけでした。しかし、現在六十歳以上の人たちの中には経験者も多くその人たちにより昭和五十年に「歌舞伎愛好会」が設立され、郷土文化の復活に力が注がれました。そして、昭和五十二年に第一回公演が行われてから今年で二十年を迎えます。

これを記念に「復活二十周年記念東白川郷土歌舞伎公演」を九月十五日は村内者を対象に、十六日には村外者を対象に行なわれます。

日時／九月十五日（日）（村内者対象）十一時三十分開場、十三時開演
場所／はなのき会館
内容／寿式三番叟
絵本大成功十段目
新版歌祭文
白浪五人男
実録先代萩
義経千本桜
詳しくは／東白川村教育委員会
有線二一七二まで

農林水産大臣賞に輝く！

茶業振興大会が

九月三日に本村で開催

岐阜県下のお茶に携わる人たちが一同に集まる平成八年度岐阜県茶業振興大会が、九月三日、はなのき会館で開催されます。

この大会は、毎年岐阜県下のお茶の産地で行われ、以前本村で開催されたのは、昭和五十八年のことで、十一年ぶりの地元開催ということになります。

その準備として、まずは品評会で一等を取ることが使命とされ、茶園の管理、防霜、摘採、加工など出展するお茶には、大変神経を注いできた

農林水産大臣賞に輝いた
安江利英さん（神土茶）



地元開催とあって、昨年から茶園管理に非常に気を使いました。

一等が取れたのは、運が良かったこと、関係者の皆さんが大変良くしてくれたおかげで、感謝しています。

ようです。今回そういった努力がみのり先に行われた審査で見事最高峰をつかみ取ることができました。この表彰は、大会当日会場で行われます。当日は、お茶の品評会をはじめ、お茶の成分や茶園土壌の分析、資材の販売、茶そばサービス、特産品販売コーナー、バザーコーナーなど盛り沢山な催しが行われ、また、松太鼓の皆さんも参加し、曲を披露してくれます。皆さん、お誘い合ってご来場なさっては。

品評会茶審査結果（敬称略）

農林水産大臣賞 安江利英（神土茶）
岐阜県知事賞 安江庄吉（越原茶）
岐阜県議会議長賞 安江和子（神土茶）
日本茶業中央会長賞 古田敬司（五加茶）
岐阜県農業会議会長賞 今井眞平（越原茶）

品評会茶園審査結果

優秀賞 安江啓次（神付）
優良賞 今井眞平（日向）
佳良賞 高木 孜（黒渕）



新しい農業委員

（敬称略）

《選挙委員》			
集 落	氏 名	所 属	区 分
平	安江 作郎	無所属	新
下親田	有田 亨	〃	再
上親田	大坪 兼行	〃	再
中通	安江 隆司	〃	再
神付	安江 保	〃	新
加舎尾	安江 茂喜	〃	新
西洞	田口 節春	〃	新
曲坂	村雲 勇市	〃	再
日向	桂川 勇吉	〃	新
陰地	安江 浩	〃	再
栃山	安江 博	〃	再
大明神	安江 正晃	〃	再
柏本	栗本 忠一	〃	新
宮代	今井 哲	〃	新
大沢	今井 佳一	〃	新

任期満了に伴う東白川村農業委員会選挙は、七月二日に告示され、立候補者の受け付けを行ったところ、村の選挙委員定数十五人を超えなかったため無投票となり、七月七日の選挙会で届出のあった十五人全員が当選となりました。向こう三年間、農家の代表としてご尽力下さる新しい委員の皆さんは、左の表のとおりです。

新しい委員による農業委員会が七月二十五日に開かれ、会長に桂川眞郷氏、会長職務代理に澤木嘉康氏が選ばれました。

新農業委員が 決まりました

— 15人が無投票当選 —

また、農業委員会の構成は農業者から選ばれた十五人と選任委員六人（議会推薦五人、農協推薦一人）の計二十一人で組織されています。村議会、農協から推薦された選任委員の皆さんは次のとおりです。

▼村議会推薦委員

（敬称略）

古田 伸幸（大口・再）
松島 勇次（中谷・新）
桂川 眞郷（黒渕・再）
今井 義信（下野・新）
古田啓治郎（久須見・再）
▼農協推薦委員
澤木 嘉康（平・再）

おし せ ら

こんにちは
社協です

使って便利!!

◎福祉器具
◎介護用品

介護する人・
される人が、毎
日の暮らしを快
適に過ごすため
の福祉器具や介
護用品。

その人にあっ
たものを選ぶ
よう、社協また
はせせらぎ荘へ
ご相談ください。
.....

社協で貸出中の
福祉器具(無料)
・ギヤジベッド
・エアーマット
・車いす

戦没者等の遺族の皆様へ 特別弔慰金が支給されます

「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法」が改正され、戦没者等の遺族のうち、平成七年四月一日において公務扶助料、遺族年金などの年金受給権を有する遺族がいないう方に、特別弔慰金として戦没者一人につき額面四十万円十年償還の国債が支給されます。

次の方などが支給対象となります。

- (1) 弔慰受給権者
 - (2) 弔慰金受給権者が平成七年四月一日にいないときは、その他の先順位の遺族の方
- お問合わせ・申し込み/役場
住民課有線二一六二

「大衆味おこし」

コンクール大募集!

地元の素材を利用した「安く、美味しい」大衆的な料理を募集します。

県内に居住されている方ならどなたでも応募できます。

応募資格/

プロの部—ホテル旅館、料理店の経営者もしくは調理に直接携わっている専門技術者。

アマの部—学生及び一般の方
応募方法/応募用紙に必要事項を記入のうえコンクール実行委員会に提出してください。
応募締切/平成八年九月三十日(月)

お問合わせ・申し込み/役場林務商工課振興係有線五一五五

児童扶養手当とは

母子家庭等の生活安定と自立を助け、お子さんの健やかな成長のために支給されるものです。

お問合わせ・申し込み/役場
住民窓口まで有線二一五一
※現在受給されている方は、現況届を期日までに提出ください。

自立するあなた、また思春期のお子さんをもつ保護者の方へ

将来自立しなければならぬ中学生や高校生の皆さんは

大きな不安を抱えていませんか。そんな人のために「思春期教室」を。また、自分たちも通り過ぎた思春期、しかし

子どものことがよくわからないと悩んでいる保護者の皆さんたちのために「思春期の頃を考える会」を開催します。
日時/八月二十三日(金)午後七時~九時
場所/保健福祉センター
申入期限/八月二十日(火)
くわしくは/役場保健福祉課有線五一五六

エネルギーもお金も大切に!

ほんのちょっとしたことで電気のムダ使いがふせます。
①室温は二十八℃前後に設定しましょう。

②冷房の時は、植物やすだれで西日対策を。

③エアコンのフィルターはこまめに手入れしましょう。

④冷蔵庫の開閉は手短にどうぞ。

⑤洗濯機や乾燥機は容量の七~八割で回すのが効果的。

みんなの道路、みんなで美しく!!

8月は「道路をまもる月間」。

それに先立ち7月25日に村の職員で構成される公友会で主要道路の空缶・空ビン拾い、通称缶トリー作戦を実施しました。

この缶トリー作戦には54名が参加。加子母村境から白川町境まで行い、集まった空缶・空ビンは肥料袋に何と15袋。捨てられている場所は退避所に多く、対向車を待つ間に捨てられたことが予想されます。運転マナーだけでなく、環境美化に対するマナーも身に付けてほしいものです。みんなの道路、みんなで美しく。



保健婦だより

食中毒にご用心
いま全国各地で「O-157」と言う病原性大腸菌が猛威をふるっています。O-157の感染は強力とはいえ、感染した人たちが全員が発病するわけではありません、病気の発病には個人差（抵抗力の差）があるため・小児や老人のような、からだの抵抗力の弱い人たちが、ネラわれる確率が高くなります。しかし、感染を防ぐ手段があるので、すから、いたずらにデマやウワサに惑わされることなく、冷静な判断をし行動していくことが大切です。

けいじばん

【戸籍】（敬称略）

● 誕生おめでとうございます

（大 沢）＝今井 英史 きほ 希保
ちなつ

（日 向）＝牧野 勇造 あさか 朝香
ひとみ

● おくやみ申し上げます

安江 吉夫 75歳（平）
田口 隆一 88歳（加舎尾）
安江 すみ 90歳（黒 淵）

【善意】（敬称略）

【社会福祉協議会】

現金10万円＝安江正介（黒淵）

古切手＝田口洋児（平）

【社会福祉指定寄付】

現金30万円＝金尾竹雄（陰地）

【東白川病院指定寄付】

現金10万円＝田口穰（加舎尾）

現金20万円＝今井巖（美濃加茂市）

【神土保育園】

部屋飾り20個＝安江かく（中谷）

【越原保育園】

ばかし＝安江たがゑ（日向）

手作り風鈴36個＝鈴木利久子（陰地）

【五加保育園】

箸膳＝内木逸介（黒淵）

【モンゴル大火災義援金】

モンゴルと交流のある恵那郡上矢作町から呼びかけのあった大火災の義援金が

50,070 円集まりました。

今月研修に行く上矢作町の中学生がモンゴル政府に届けます。ありがとうございました。

⑥掃除機にゴミがたまると吸引力が低下します。
⑦クッキングヒーターの余熱も上手に使いましょう。
⑧お出かけの時はテレビの主電源をオフに。
⑨高機能スイッチは便利に無駄を省いてくれます。
⑩温水器には保温を、お風呂にはフタをお忘れなく。

全国スポーツ・レクリエーション祭岐阜県大会キッズフリース募集

平成十年十月三日～六日の四日間、第十一回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクぎふ'98」がウエルカム

21イベントの一環として岐阜県各地を会場に行われます。岐阜県準備委員会では、豊かな自然の中で、カジュアル感覚でスポーツ・レクリエーションを楽しむ快適さや、「日本一住み安いふるさと」づくりの夢を実現中の岐阜県を明るくいきいきと表現したキッズフリースを募集します。応募資格／どなたでも応募できます。応募締切／平成八年九月十日 応募要領／官製はがき一枚につきキッズフリース一点とその説明、住所、氏名、性別、年齢、連絡先、職業、学校名を記入してください。一人何

ふれあい ウェーブ 北九州



ウェーブちゃん
スポレク北九州'94

不起訴だと
あきらめていませんか
交通事故などにあつて警察

点でも応募できます。自作未発表のものに限りません。
応募先／〒5000 岐阜市藪田南五の十四の十二 第十一回全国スポーツ・レクリエーション祭岐阜県準備委員会事務局
☎〇五八二七六四九八〇
マスコミキャラクターの一例

や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような場合に、その不起訴の処分が正しいかどうかを審査するのが検察審査会です。この審査は、選挙権を有する一般国民の中から選ばれた十一人の審査員が行います。このような検察審査会制度に国民の代表として選ばれた検察審査会で活躍していただいております。
くわしくは／多治見検察審査会事務局 ☎〇五七二二二二一〇六九八
なお、審査会の活躍のビデオ映画を貸し出しています。ご希望の方は事務局まで。

TOPICS

発見

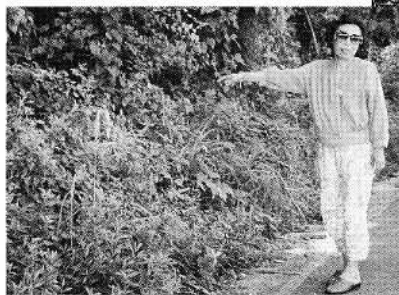
ツチノコ発見!?

それも二度!

「ツチノコを見た人がいる!」との一報が届いたのは七月の中旬のこと。発見者は安江農機の安江一子さん(平)で、普段、家の中で廊下に座り、外を眺めることが多く、その日もいつものように見ていたそうです。すると、川向この岩を体長三十センチくらいの寸胴型をした薄茶色の生き物が、鉄砲玉のように走って行くのが見え、いつも手元に置いてある双眼鏡で覗いてみたが、わからなかったと話してくれました。

また、その一ヶ月前にも同じようなものに遭遇したという一子さんは、「西洞口付近を自転車で走っていると目の前に猫が死んでいるのかと思ったら、突然、山の中へ一直線に登って行った」と話してくれました。

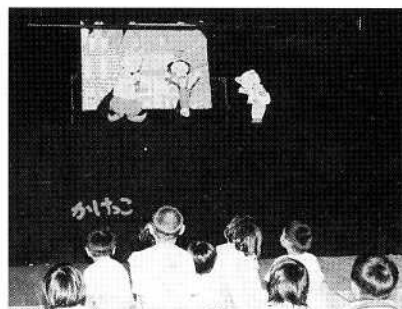
現在まで「幻のツチノコ」の発見者は二十数名。突然の出来事とすばしっこさで、以前として証拠は何一つ無く、幻のままですわってしまうのでしょうか。



あそこを飛びました(安江農機裏)

演技

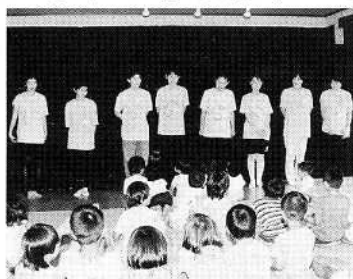
子どもたちは生の演技に楽しそう!



楽しそうに見る園児たち

小学校十八日に神土保育園で行われ、園児や児童を楽しませてくれました。

この人形劇は、名古屋女子大の皆さんが将来教諭になるための研究ということもありますが、「学舎がこの村にありながら、普段あまり接することがない村の子たちとの交流を深めたい」とリーダーの安田洋子さんは話してくれました。今回演じてくれたのは、幼いころ誰もが一度は耳にしたことのあるピノキオで、「うそをつくなどして罰を受けていたピノキオが、人助けをして良い子になる」という物語の中から、子供たちに訴えるものを感じさせました。



名古屋女子大の皆さん

毎年この時期に名古屋女子大児童文化研究部の皆さんが、保育園児や小学生の低学年を対象に人形劇を見せられます。今年も、七月十五日に越原保育園、十七日に

学習

汗と感動の婦人の会ふれあい学習

昨年からはじまった婦人の会ふれあい学習が七月二十日に行われました。



こんなに楽しく運動したのは久しぶり!

このふれあい学習は、「普段なかなか交流を深めることができない」という目的で年一回行われ、今回は午前中に小学校体育館で、富加町から講師を招き、レクリエーションダンスを行い親交を深めました。

参加者は約百人、音楽に合わせて楽しく踊る婦人の皆さんは、笑顔が絶えることなく、額からはさわやかな汗が流れていました。

午後からは、はなのき会館で中村富子先生の「ある、ある、ある」と題した講演が行われました。この講演は、病気で手足を無くされた母親の生涯の中から



講師の中村富子先生

中村先生が学んだことを話され、話を聞く皆さんの中には、ハンカチで目頭を押さえられる方も多く、自分の人生を振り返る切っ掛けになったかも。

話題集まれ!

調理

小さなコックさん

親子料理教室



ボクたちにもできるよ、お母さん!!

「子どもたちにもっと栄養のあるものを」と七月二十八日保健福祉センターにおいて、「親子料理教室」が行われました。この料理教室は、インスタント食品の需要が増えるなか、栄養バランスのとれた食事を作ることや親子のふれあいを目的に、夏休みを利用して食生活改善推進協議会が開いたものです。

参加したのは、七組十九名の親子で、陰地の稲垣八穂子さんは「夏休みの思い出になれば」ということで参加したそうです。

今回のメニューは、ピロシキ(パン生地の中に春雨や挽き肉を入れたあげパン)、スープ、サラダ、ゼリーの四品、子どもたちはなれない手付きで包丁を使っていました。

普段なかなかできない親との共同作業、みんな楽しそうに作っていました。

来年は、ぜひお父さんたちも参加してみてはいかがでしょう。



自分たちで作った料理、結構おいしいよ!!

善戦

第二回可茂地区

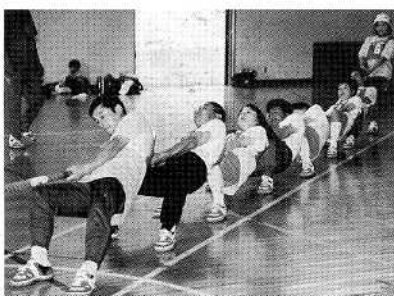
スポーツ・レクリエーション祭

七月十四日と二十八日に第二回可茂地区スポーツ・レクリエーション祭が美濃加茂市を中心とした各会場で行われました。この聞き慣れない催しは何かと言いますと、だれもが気軽に楽しめる軽スポーツの大会であります。



ナイススパイク! 善戦したソフトバレーボール

本村からは、十四日に美濃加茂市中農体育館をメイン会場に行われたソフトバレーボールに三チームが出場。四十二チームが参加という激戦のせいか、残念ながらすべて予選で敗退しました。また、二十八日には東白川小学校体育館において、男女混合綱引きが行われ、本村からの二チームと美濃加茂市、白川町の各一チームの四チームでしたが、大変な盛り上がりでした。



力が入った男女混合綱引き

結果は、本村のみつばつつじBが優勝、みつばつつじAが三位に入る健闘ぶりを見せてくれました。このスポーツ・レクリエーション祭、平成十年には岐阜県が全国大会の会場となります。

福祉

盲導犬「エール」を迎え

ボランティアスクールを開催

「他人の気持や立場を思いやる心を」と八月六日に社会福祉協議会が夏休みを利用して、中学生を対象にボランティアスクールを役場で行いました。



庁舎内を車椅子で回りました。職員の対応は?

参加したのは東白川中学校ボランティア委員をはじめ十四名の生徒たち。このスクールは、障害者の立場になって考えることが主な内容となっており、午前中には二人一組みとなって、車椅子で庁舎内を回るといった体験学習を行いました。午後からは、高山市で針灸を開業している視覚障害者の下堀均さんと盲導犬エールを迎え、下堀さんから「迷っている視覚障害者の人を見かけたらやさしい言葉



目を隠すと足が出ない、視覚障害者の気持ちがありましたと話す村雲弘隆さん(中谷)

葉を」といった話や盲導犬についての話を聞かせていただきました。また、重りやアイマスク、耳栓等を付け実際の障害者の立場になった体験学習も行われました。



婦人の会ふれあい学習より

今月の笑顔さん

みんなが公園…のよつたページ

大変お世話になりました。

AET ナンシーナカタニ

季語の中で、季節の変わり目をどちらかにとらえるかは、なかなか興味ぶかい。
新婚のすべて未知数メロン割る 品川鈴子

これから始まる新婚生活、その未知数の期待や不安が、メロンに包丁を入れる瞬間の気持ちに駆け合って、感性が瑞瑞しい作品です。

西断の西瓜たふる、東西に日野草城

なんとダイナミックではないですか、「たふる」は「倒れる」で、スパッと切った大きな西瓜が左右に開くようすが、その中の赤い果肉まで目に浮かびます。

さて、メロンは夏の季語西瓜は秋の季語と分けられているのですが、微妙なところです。

お便り

東白川村の皆さん、一年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。
気候、文化、そして生活習慣にいたるまでアメリカとは全く違い、日本での生活の中でつらいこともありましたが、自然豊かで心温かい村民の方々のおかげで楽しい思い出をたくさん作ることができました。
私は英語を教えるために日本にきましたが、子どもたちとのふれあいの中で、教えられる事のほうがたくさんあったような気がします。
アメリカへ帰った後は大学院へ行き、日本文化について、もっと勉強したいと思っています。
そして将来は、この村で学んだ経験を生かし、アメリカの学生たちに日本の文化を教えたいと思います。また、私の小さな仕事の日本とアメリカとの友好の架け橋になってくれることを願います。



AET (英語指導助手)
ナンシーさん



職場から

中島

石油店

今回は、この時期一番のにぎわいを見せるガソリンスタンド、平の中島石油店を訪ねました。
店の中は鮎釣り道具のデパートとでもいましょうか、幾種類もの鮎かけ道具が勢揃い、おまけに値段も安いと評判です。

「この店で釣り具を扱うようになったのは三十年ほど前で、当時はまだ小さな箱に入れて売っていた。小学校のころ、お父さんに連れられて釣り具問屋へ行った覚えがある」と話してくれたのは、二代目の中島泰幸さん。本格的に釣り具を扱うようになったのは十二年前からだそうです。「お客さんの注文に添えて仕入れていたら、これだけの店になったお客さんが店を大きくしてくれた」と話す泰幸さんのモットーは「お客さんが集える店」だそうです。



▶安江尚子ちゃん
(正明さん・節子さん
の親田)



▶古田 舜ちゃん
(晃裕さん・かほるさん
の久須見)

今月のことば

終わってから、何でもっと頑張らなかつたのかと、思わなくても良い走りがあったし、それができました。

有森裕子（アトラクタ五輪銅メダリスト）

このコーナー、毎回新婚ホヤホヤの熱いカップルに登場いただき、独身の皆さんには大変興味のあるコーナーのようですが、ちょっとお休みいただき、旬のご夫婦を紹介します。

今回は、平の鮎釣り名人安江政辰さん、英子さんご夫婦を訪ねました。政辰さんは、数々の全国大会に出場し、必ず上位に入賞されるという太公望なら誰でも知る名人中の名人。釣り具メーカーのテスト（製品を支給され、試す

人）ということもあって、この時期は鮎釣りの毎日。ご主人のことを「疲れ知らずの病氣」と評する奥さん。しかし、内心誇りに思っているのでは。奥さんは五年ほど前からご主人に習って始めたそうですが「腕のほうはまだまだ」とご主人。「私も考えて釣とるのやよ」と反論。こう言い合えるのも、夫婦田満な証拠ではないでしょうか。どうやら鮎が二人の仲を取り持っているようです。

2 ツーショット 鮎釣り夫婦



安江政辰さん・英子さんご夫妻

サークル

訪ねある記 ⑤



今回は、今年から東白川野球連盟に加盟したフェニックスを訪ねました。このチームの部員数は現在十四名。同学年の仲間が集まって結成されたものです。チームを作った切っ掛けを尋ねてみると、「同じ同級生チームで組織されている先輩チームのタイガースの仲が良いのうらやましさを感じていた」と話してくれたのは、このチームを率いる村雲治幸さん（神付）。

「楽しくワイワイできれば」がモットーというこのチームは八月六日現在で一勝四敗と成績はいまいち。しかし、後半戦の巻き返しに期待。



図書室発・あなたへ

母の時間

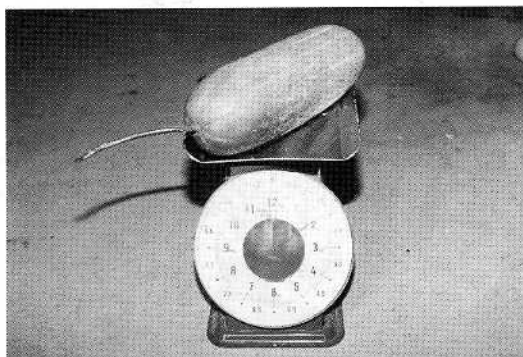
母の時間

浜 文子

ホットアングル



また今年も作ってくれました。ギネスに挑戦！。このどでかいきゅうりを作ってくれたのは、陰地の松岡勝さん。なんと重さ1,900g、長さ30cm、胴回り33cmという超大物。これまでの記録は、平成3年に作られた1,580g。今回320gの更新となり記録が塗り替えられました。皆さんもどうぞギネスに挑戦してみてください。ビックな情報をお待ちしています。



わが家のスター

お詫び
7月号で紹介した
今井夏樹・夏輝ちゃん
のあやまりでした。
お詫び申し上げます。

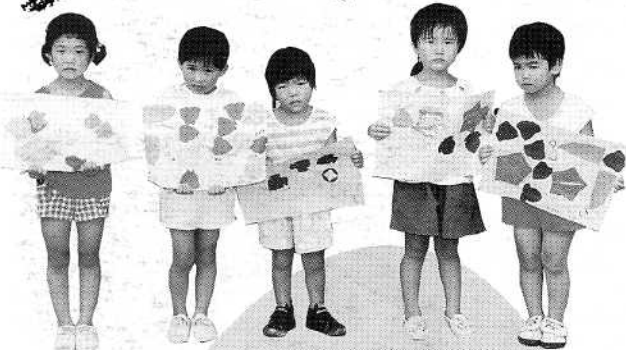
一山の秋の風音水の音
一人逝き二人逝きけり秋暑く
白藤の花一ぱいに群るゝ蜂
あじさいの庭を色どり雨しづか
笹百合やこの山奥に咲けばこそ
大工さのサツシに遠のく梅雨の音
かきつばた供へて季節を話しかけ
色さえて窓辺に映る花しようぶ
筈を隣親しく土つけて
工事場のブル音はげし若葉風
夏椿一輪咲いて雨晴るゝ
蔵に合ふ広き植込み夏椿
梅雨曇り大むかで退治て安らげり
箸使ふに惜しき若鮎膳にのる

日向 安江一滴水
栃山 安江 市助
西洞 中島甲子生
神付 村雲とみ子
栃山 桂川 喜郎
平 安江 武子
平 今井 統子

新しき麦藁帽子や朴の花
お茶摘みに定年はなし玉の汗
初蝶やひらひらわたる用水池
夕焼のえがける虹や夢の橋
代がきの終りたる後水戻る
蚕飼いの上るを云ふや夏近し
手の傷へジンと泌み入るまむし酒
夏風邪の煎じ薬は妻の業
露草の露玉となりて光りおり
刻々と霧包みゆく夏の峰
○故 新田義男さんを悼みて
悲しみの螢火掌より放ちけり
あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します。奇数月の二十日までに神戸河田重喜宛に出して下さい。

曲坂 菊田 清美
中通 村雲みか子
加舎尾 今井 周一
日向 田口 秋映
平 安江 すみ
西洞 河田 重喜

発表 わたしの作品



▲「あさがお」
五加保育園児 5人



▲粘土の作品「遊んでいる妹たち」
東白川小学校4年生
今井 駿さん (平)

▲「プールで泳いでいる絵」
東白川小学校1年生
古田しおりさん (柏本)



▲ブロンズ粘土「願いを表す手」
東白川中学校2年生
安江良介さん (上親田)

▲ブロンズ粘土「願いを表す手」
東白川中学校2年生
今井智恵美さん (大沢)

かぼちゃの蔓が、やけに元氣よく伸びる、元氣の良
いのはいいがあまり伸び過ぎると肝心の実が太らない。そこで余分な蔓を剪定した。すっきりした。▼翌朝行つて見ると、あれ？おかしい。確かに切ったはずの所にもう蔓が伸びている。切り忘れかな……と一瞬思ったがそうではない、昨夜のうちに切り残した小さな蔓が成長したのだ。▼いたい一日でどれほど伸びるものだろうと、先端に目印の杭を立てておいた。▼さて翌朝、なんと杭より先二十一センチにうぶ毛に朝露を光らせた先っぽがあった。二十四時間で二十二センチ、一時間平均およそ〇・九センチ、植物の成長を通じて自然の神秘を体験した朝であった。▼夏休みの自由研究は、そのうち、そのうちと思ひながら、気がつけばもう休みも残り少い……。そこで今年はいきなり・なす・さつまいもの蔓・トマトなど、目につく野菜の成長調べはどうだろう。▼背比べで柱に目印をつけたのを思い出しながら……。

(F)

